



メソ数値予報とその応用技術に関する公開セミナー・ワークショップのお知らせ

(ご案内とワークショップ口頭発表募集)

気象庁では、(財)シップ・アンド・オーシャン財団の海外交流基金による平成11年度国際交流等事業の一環として「メソ数値予報モデル開発とその応用技術分野の専門家の招へい」の実施を予定しています。

同事業では、メソ数値予報の分野で先進的なプロジェクトを推進している米国オクラホマ大学および海洋大気庁(NOAA)から、数値予報およびその応用技術の開発担当責任者を招き、我が国関係者との間で意見・情報の交換を行うことにより我が国におけるメソ数値予報モデルの精度向上やその利用技術の高度化を図ることを目的として、下記のセミナーおよびワークショップを開催します。

セミナー/ワークショップともに、どなたでも参加いただけます(無料・要申込み)。また、ワークショップでの口頭発表を希望される方は下記の要領で至急ご応募ください。

日米のメソ数値予報に関する公開セミナー

日 時：平成11年11月8日(月)13時～17時

場 所：気象庁講堂

プログラム：

佐々木嘉和(オクラホマ大学名誉教授)

「人のスケールからみたストーム対策」

Don Burgess (NOAA/NWS)

「The Utility of the NEXRAD Network in Operational Nowcasts and Warnings」

Ming Xue (オクラホマ大学/CAPS)

「Storm-Scale NWP : Challenges and Opportunities for the Next Decade」

郷田治稔(気象庁数値予報課予報官)

「気象庁におけるメソ数値予報モデル開発」

(使用言語：英語)

メソ数値予報モデルとその応用技術に関するワークショップ

日 時：平成11年11月9日(火)、10日(水)

場 所：気象庁別館3320、3323会議室

テーマ：メソ数値予報システムの現状、メソ数値予報の航空などへの応用、メソ数値予報に適した観測システム・品質管理、メソ数値予報システムの高度化

(発表は原則として英語によることとし、1講演あたりの時間は30分程度を予定)

口頭発表申込方法：発表者氏名、所属、題目、要旨(英文でA4サイズ1ページ以内)を添えて申し込んで下さい。10月15日(金)必着

セミナー・ワークショップ参加申し込み方法

参加者氏名、所属、連絡先を電子メールかFAXで送付してください。10月末日必着。

申込・お問い合わせ先：

〒100-8122 東京都千代田区大手町1-3-4

気象庁予報部数値予報課 室井ちあし

TEL：03-3212-8341(内線3305)、

FAX：03-3211-8407

E-Mail：workshop@npd.kishou.go.jp